

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農 林 水 産 部 農 林 水 産 局 農 地 整 備 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課 長 松 浦 猛 (課長補佐兼基盤整備係長 坊垣 昌明)	内線	4003 (4016)
------	-------------------------------------	---------------------	-------------------------------------	----	--------------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区域	総事業費	約5億円
		基盤整備促進事業 (農地等高度利用促進事業・担い手育成型)	東桃川地区	内用地補償費	約0.02億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
津名郡一宮町江井東桃川			H 1 7	H 1 7	H 2 1
事業の目的		事業内容			
未整備農地における多大な営農労力の負担を解消し、効率的かつ安定的な担い手の育成を図り、農地を維持保全するため、農業生産基盤の整備を行う。 事業主体：津名郡一宮町		区画整理 17.5ha 工事費の負担割合 (国55% 県19% 町10% 地元16%)			
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>当地区は、水稻を中心に繁殖和牛、プロイラー等の畜産が盛んであるが、現況農地は小区画・不整形で道路用排水路も未整備なため、急峻な地形と相まって農業従事者にとって多大な労力が負担となっている。</p> <p>この様な状況の中、受益者と町の強い要望を受け、早急にほ場整備を実施し、区画形状の改善、用排水路、農道等を整備し、農作業機械の大型化による生産性の向上を図るとともに、整備された農地を活用し、効率的、安定的な担い手（認定農業者）を育成していく必要がある。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>投資効率1.14、所得償還率21.4%であり、事業としての効果が十分に期待できる。</p> <p>同意率 100% (42戸 / 42戸)</p> <p>区画整理の換地手法により、本事業区域の地籍が明確になる。</p>				
(3)環境適合性	<p>道路の路盤材、構造物の基礎材等に、再生材料を積極的に使用する。</p> <p>本地区には絶滅危惧種であるハンゲショウが生息しているため、生息場所をそのまま残すことにより生態系の保全に努める。</p> <p>地区内の排水路底に栗石を敷き詰め、水路側壁には植生パネル等を使用して、身近な生物の生息空間を確保する。</p>				
(4)優先性	<p>飼料作物・レタス・玉ねぎの作付け規模拡大を行い、食料の安定供給に貢献する地区である。</p> <p>一宮町のほ場整備率は12%と極めて低く、合併後の新市の中でも大きな格差を生じるため、早急に整備を進める必要がある。</p> <p>ふるさとむら保全活動を実施中であり、都市農村交流に熱心に取り組んでいる。</p>				